

2020年度運営方針

(1) 基本方針

岡崎山岳会では、日帰りハイキング、テント泊縦走、雪山、岩登り、沢登り、アイスクライミング、山スキー、トレランなど、幅広い活動を行なっています。会として、“これをやらなければならない”、あるいは“これをやっ
てはいけない”、ということは基本的にはありません。そして、多種多様な志向を持った人々の集まりであるから
こそ、各々が尊重しあい、共存共栄していけるよう会を運営していきたいと考えています。

この組織が継続し、発展していくためには、会員は自立し、次の世代へ技術を伝承していく必要があります。
具体的には、自分の山行スタイルにおいてリーダーとして、自ら計画して山行を実施し、後進への指導を行
ってください。

そのために、先輩は後輩の求めに応じ、積極的に後進への指導を行ってください。後輩は教わった技術をし
っかりと身に付け自立するとともに、更に次世代へ技術の伝承をしていくことを意識して活動してください。

(2) 新しい生活様式を踏まえた登山スタイルについて

新型コロナウイルス感染拡大防止をうけて、いわゆる新しい生活様式の実践が提唱されているところ
ですが、登山においてもこれに沿った登山スタイルの実践が必要です。具体的な内容は各団体等からガイドラ
インが示されていますのでここでは触れませんが、新型コロナウイルスの治療法、予防法が確立するまでは平
時では無い事を理解し、この新しい生活様式を踏まえた登山スタイルの実践をお願いします。

(3) 会の公式行事について

新しい生活様式の実践に伴い、例年通りの活動ができない状況ですが、基本方針に沿った活動をできる
範囲で行っていきます。その際は個人の計画山行は控え、これら公式行事への積極的な参加をお願いします。
す。

(4) 会員の計画する計画山行について

山での遭難に対して、今まで以上に世の中の風当たりが強い状況です。計画は例年以上に安全マー
ジンを大きく取った計画としてください。

(5) 当会の活動活性化について

ここ数年新規入会者が減少しています、新たな会員の獲得は、会の継続・発展にとっても重要
な課題です。今年度は会のWEBサイトなど、インターネットによる情報発信の方法などの見直し
を進めます。

また、その情報の基となる山行、トレーニング、勉強会、親睦会などの活動について、困難な状
況下ではありますが、会員の皆様はできる範囲で積極的に行ってください。